

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	1	100104	町中小企業融資事業

事務事業名	町中小企業融資事業
-------	-----------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内の金融機関と、融資制度を設け、町内に事業所を構える中小企業に対し、融資を斡旋する。本融資の受託者に対し、町は、保証料全額と利子の一部を補給している。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内中小企業
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 事業経営の基礎となる金融の円滑化を図り、町内中小企業者の育成振興及び経営合理化並びに近代化を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 事業経営の基礎となる金融の円滑化を図り、町中小企業者の育成振興及び経営合理化並びに近代化を促進するため実施した。平成25年度から、資金使途別の融資限度額や利子補給率の範囲を改正するなど事業者が使いやすい制度へと変更した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 平成25年度から利子補給範囲の返上や資金使途別融資限度額の廃止を行う利用しやすい融資制度に変更した。現在、条例に基づく指定金融機関に融資の原資として預託金は3億円、協調融資は5倍としている。今後は利用件数等が増加した場合は、預託金の増による融資枠の拡大は行わず、協調倍率の拡大による融資枠の増について検討を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	300,000,000	300,000,000	300,000,000
		一般財源	円	6,837,371	9,791,844	9,591,000
		事業費計(A)	円	306,837,371	309,791,844	309,591,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2950	0.1581	
人件費計(B)		円	2,341,539	1,231,562		
トータルコスト(A+B)		円	309,178,910	311,023,406		
活動指標						

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
中小企業融資金貸付元金収入	円	300,000,000	300,000,000	300,000,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○ 令和3年度芽室町中小企業融資事業

(1) 中小企業融資あっせん貸付実行内訳

商工会での審査を経て、融資申込があった案件について申込者等の納税状況を確認し貸付を決定する。

資金種別		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金	設備資金	5件	32,000,000円	6件	26,990,000円
	運転資金	11件	100,500,000円	10件	124,000,000円
合計		16件	132,500,000円	16件	150,990,000円

(2) 芽室町中小企業融資償還状況(令和3年4月～令和4年3月)

資金種別		期首融資残高 (令和3年4月現在)		期中貸付 実行額	期中償還額	期末融資残高 (令和4年3月末現在)	
経営近代 化資金	設備資金	52件	155,269,500円	26,990,000円	48,125,700円	46件	134,133,800円
	運転資金	83件	416,091,700円	124,000,000円	178,633,500円	68件	361,458,200円
合計		135件	571,361,200円	150,990,000円	226,759,200円	114件	495,592,000円

(3) 芽室町中小企業融資に係る融資機関への原資預託

金融機関名	令和2年度	令和3年度
北海道銀行 芽室支店	150,000,000円	150,000,000円
帯広信用金庫 芽室支店	150,000,000円	150,000,000円
合計	300,000,000円	300,000,000円

(4) 芽室町中小企業融資に係る利子補給

※一般融資に係る利子補給の実績のみを記載(令和3年度分に関しては町中小企業融資事業の決算額と一致せず)

※件数は上期分、下期分の合算件数(対象融資重複あり)

資金種別		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金	設備資金	124件	1,131,609円	105件	879,898円
	運転資金	217件	1,786,763円	168件	1,467,189円
合計		341件	2,918,372円	273件	2,347,087円

(5) 芽室町中小企業融資に係る保証料補給

資金種別		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金	設備資金	4件	1,423,400円	6件	799,837円
	運転資金	11件	2,495,599円	10件	3,278,203円
合計		15件	3,918,999円	16件	4,078,040円

事務事業の成果に関する説明

【参考・緊急対策分】令和3年度芽室町中小企業融資事業

新型コロナウイルス感染症の影響による企業の経営を支援するため、令和2年3月25日より中小企業経営近代化資金緊急対策融資を実施。令和2年度は新型コロナウイルス対策商工業支援事業にて予算計上。

令和3年度は3年度以前に融資実行された分を町中小企業融資事業、3年度中に融資実行された分を新型コロナウイルス対策商工業支援事業にて予算計上。

(1) 中小企業融資(緊急)あっせん貸付実行内訳

商工会での審査を経て、融資申込があった案件について申込者等の納税状況を確認し貸付を決定する。

資金種別		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金(緊急)	設備資金	1件	5,000,000円	1件	5,000,000円
	運転資金	64件	273,500,000円	9件	36,000,000円
合計		65件	278,500,000円	10件	41,000,000円

(2) 芽室町中小企業融資(緊急)償還状況(令和3年4月～令和4年3月)

資金種別		期首融資残高 (令和3年4月現在)		期中貸付 実行額	期中償還額	期末融資残高 (令和4年3月現在)	
経営近代化 資金(緊急)	設備資金	1件	4,832,000円	5,000,000円	1,428,000円	2件	8,404,000円
	運転資金	64件	249,191,200円	36,000,000円	48,382,800円	73件	236,808,400円
合計		65件	254,023,200円	41,000,000円	49,810,800円	75件	245,212,400円

(3) 芽室町中小企業融資(緊急)に係る利子補給

※件数は上期分、下期分の合算件数(対象融資重複あり)

資金種別		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金(緊急)	設備資金	1件	11,980円	4件	128,964円
	運転資金	104件	2,239,016円	142件	3,546,093円
合計		105件	2,250,996円	146件	3,675,057円

(4) 芽室町中小企業融資(緊急)に係る保証料補給

資金種別		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金(緊急)	設備資金	1件	118,250円	1件	206,250円
	運転資金	64件	8,337,560円	9件	1,041,150円
合計		65件	8,455,810円	10件	1,247,400円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	1	150103	起業セミナー開催事業

事務事業名	起業セミナー開催事業
-------	------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

起業に興味のある、起業をしたい、起業を考えている女性を対象にセミナーを開催する。また、今年度は起業の後押しとなるように個別オンライン相談会を開催。

2. 対象(何を対象にしているか)

起業に興味のある、起業をしたい、起業を考えている女性
特に平日に仕事や育児等で参加できない方

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

起業のノウハウを学んでもらい町内で起業するきっかけづくりとする

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

・平成27年度から女性限定の起業セミナーを継続開催し、これまで受講者からも数名町内で起業者を輩出してきたが、近年は参加者数が低減している状態にあり、新たな参加者の掘り起こしが必要となっている。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

・セミナー参加者を女性に限定せず、広く募集することで、起業・創業意欲を持つ方の更なる掘り起こしを図る。
・オンライン個別相談会の枠を拡張し、セミナー参加者の具体的な行動を起こす後押しをする。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	254,176	363,706	381,000
		事業費計(A)	円	254,176	363,706	381,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0044	0.1216	
人件費計(B)		円	34,925	947,236		
		トータルコスト(A+B)	円	289,101	1,310,942	
活動指標	セミナー開催数		回	4	4	3

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■起業セミナー参加実績及び年別起業数

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	累計
参加者数	34名	18名	21名	16名	13名	17名	13名	132名
起業数 [※]	0件	0件	1件	1件	1件	2件	0件	5件

※町の施策に参加したうえで起業した実績数

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	2	2	150109	雇用・労働関係相談対応事業

事務事業名	雇用・労働関係相談対応事業
-------	---------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内企業、事業所における人手不足を解決するため、無料職業紹介所(地方版ハローワーク)を運営する。
2. 対象(何を対象にしているか) ・求人企業、求職者 ・町内企業等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 求人企業と求職者をマッチングし雇用につなげる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・地域内各産業において人材確保困難な状況である。 ・課題解決のために、芽室町ハローワーク(無料職業紹介所)を設置し、企業の求人と求職者をマッチングすることで、町内企業の人手不足対策を講じると共に、町内で就職を希望する人への支援を行っている。 ・2021年7月から、芽室町ハローワークの運営を民間団体へ委託し、より柔軟なマッチング支援が行える体制づくりを行った。 ・2020年度に供用開始した雇用促進住宅については、2021年度より事務事業を分離した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・芽室町ハローワークの認知度向上の取組を行い、ニーズを持つ企業の掘り起こしを行う。 ・夜間、休日窓口の開催など、柔軟な運営により、求職者の利用しやすい環境づくりを進める。 ・移住定住施策(魅力発信係所管)及び障がい者雇用支援施策(障がい福祉係所管)との連携を図り、工業団地立地企業等へ各種施策のPRを行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	5,118,325	132,406	
		一般財源	円	18,210,156	5,500,620	6,043,000
		事業費計(A)	円	23,328,481	5,633,026	6,043,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1877	0.1082	
人件費計(B)		円	1,489,854	842,853		
		トータルコスト(A+B)	円	24,818,335	6,475,879	
活動指標	地方版ハローワーク相談窓口数	箇所		1	1	1

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
雇用促進住宅使用料	円	608,442		
会計年度任用職員労働保険個人負担金(労政費)	円	409,883	125,736	
寄附金管理基金繰入金	円	100,000		
公共施設整備基金繰入金	円	4,000,000		
建物災害保険料返還金(労政費)	円		6,670	
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■芽室町ハローワーク(無料職業紹介所)実績

	R1	R2	R3	累計
新規登録求人企業数	37社	35社	25社	97社
新規登録求職者数	10人	67人	68人	145人
マッチング数	3件	34件	29件	66件

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	2	労政費	150115	雇用促進住宅維持管理事業

事務事業名 雇用促進住宅維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 各産業において人材確保が困難な状況になっていることから、企業の雇用対策を支援するために、雇用促進住宅を整備する。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内企業・個人事業主
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 企業等の雇用に必要な住居問題の解決を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 農業・商業・工業・福祉など、各分野における人材不足が顕著であり、安定的な産業に影響を及ぼしかねない事態となっている。また、若年層を中心に就職先に対して住宅支援を求めるニーズも高まっており、企業にとっては住宅支援を検討する必要性が生じている。そのため、企業・事業者等の住宅支援策を後押しすべく、旧農業試験場を取得し、2020年8月1日より雇用促進住宅として供用を開始した。 ※2020年度は「雇用・労働相談対応事業」の一環として開始したが、業務内容や事務量を勘案し、2021年度から「雇用促進住宅維持管理事業」を独立させた。そのため2020年度は指標のみ記載している(事業費・人件費は「雇用・労働相談対応事業」として計上)。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 企業・事業者等への個別ヒアリングにより、雇用促進住宅の認知度向上を図り、ニーズのある企業へ情報を届けることで、利用率を高める。特に、現在は夏期の利用に偏っているため、冬期利用ニーズを持つ企業との組み合わせや、通年利用の促進を行う。 また、利用不可の6戸の方向性については、利用率向上の取組による成果により、2022年度中に判断する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円		1,604,830	2,041,000
		事業費計(A)	円		2,412,190	2,779,000
	人件費	正職員従事人数	人		3	3
		人工数(業務量)	人工		0.1714	
人件費計(B)		円		1,335,166		
		トータルコスト(A+B)	円		3,747,356	
活動指標	雇用促進住宅戸数		戸	24	24	24

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
雇用促進住宅使用料	円		1,369,430	2,041,000
雇用促進住宅給湯管破裂弁償金	円		235,400	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■芽室町雇用促進住宅の利用状況

R2年度	通年利用	1社	1戸	2人
	短期利用	1社	11戸	23人
R3年度	通年利用	3社	6戸	8人
	短期利用	3社	18戸	46人

■芽室町雇用促進住宅の実質稼働率(月ベースで計算した稼働率)

R2年度=18.8% R3年度=28.2%

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	3	消費経済費	100110	町内消費喚起事業

事務事業名 町内消費喚起事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

①リフォーム・新築等事業 町民または町外者で町内の建築業者が施工した、住宅新築・リフォーム及び建売住宅を購入し、居住した者に芽室町商工会が発行する共通商品券を交付し、町内の消費拡大を図る。②買い物スタンプカード 18歳以下の子供のいる町民を対象として、加盟店での買い物をするごとに、スタンプが付き、進呈品と交換することができ、町内の商店街の消費喚起につながる。③プレミアム商品券(一般消費者向け)販売事業 消費税増税、コロナウイルス感染拡大による地域消費の冷え込み、それに伴う地元商店街の売上げ減少が懸念されることから、一般消費者向けのプレミアム商品券販売事業を町で実施する。また、芽室町商工会に対し、必要経費を支援し地域消費の冷え込みを抑える。

2. 対象(何を対象にしているか)

①住宅を新築・購入及びリフォームする町民 ②18歳以下の子供のいる町民 ③プレミアム商品券販売事業実施者

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

①住宅新築・購入・リフォームについて、町内の建築業者を利用してもらう。②町内の商店を利用してもらう。③プレミアム商品券により消費を喚起し、町内の商店を利用してもらう。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

住宅新築に対する奨励金は2020年度をもって終了。リフォーム等奨励事業については2022年度よりMカードの行政連携推進のため、奨励金の交付方法を芽室町商工会共通商品券からMポイントに変更した。

2020、21年度にプレミアム商品券事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策の側面が強いことから、新型コロナウイルス対策商工業支援事業にて実施。2022年度も同様に実施予定。またキャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業についても上記と同様の取扱い。

買い物スタンプカード事業は、芽室ふれ愛スタンプ会・めむろみなくる商店会とのポイント事業統合のため令和3年度中に終了し、新たにめむろポイントカード会のMカード事業が始まっている。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

リフォーム等奨励事業ではMカードとの行政連携推進のため、Mポイント交付による町内消費喚起を進めていく。

プレミアム商品券やキャッシュレス決済への補助については、有効な町内消費喚起のメニューとして新型コロナウイルス感染症の収束後においても、町民から継続が求められることが想定される。

また、第5期芽室町総合計画に記載のとおり、既存事業の継続・見直しも含め、キャッシュレス化の推進などの新たな視点での経済循環事業に取り組む。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			71,000
		一般財源	円	4,139,500	4,087,745	2,891,000
		事業費計(A)	円	4,139,500	4,087,745	2,962,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1785	0.4384	
人件費計(B)		円	1,416,829	3,415,033		
トータルコスト(A+B)		円	5,556,329	7,502,778		
活動指標	町内消費喚起及び地域内経済循環事業数	件	3	2	1	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
火薬庫保安検査手数料	円			41,000
煙火消費許可申請手数料	円			23,000
火薬類譲受許可申請手数料	円			7,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1) 住宅リフォーム奨励事業

年度	交付件数	工事費用総額(円)	うち補助対象額(円)	補助対象割合(%)	奨励金交付額(円)
29	26	49,370,669	46,983,677	95.17	1,141,000
30	53	82,413,319	81,990,769	99.49	2,190,000
1	91	125,849,226	117,392,353	93.28	2,821,000
2	99	109,530,910	103,802,206	94.77	2,909,000
3	95	142,069,880	132,492,303	93.26	3,171,000

2) 買い物スタンプカード事業 (令和3年度にMカードに統合)

18歳以下の子どもがいる家庭を対象にスタンプカードを交付し、町内協賛店舗での買い物や飲食等による消費喚起と将来の商店街利用者の醸成、中心市街地の活性化を図る。

【年度別実績】

年度	登録店舗数	スタンプカード回収枚数(枚)	資源ごみ袋支出額(円)	燃やす・燃やせないゴミ袋支出額(円)	商品券支出額(円)
29	45	10,842	132,948	550,350	365,000
30	45	9,876	135,000	517,800	318,000
1	43	8,092	118,870	360,450	300,000
2	43	9,814	138,700	541,800	350,000
3	43	11,681	175,670	240,075	501,000

3) プレミアム付商品券販売事業(補助金)

令和3年度は新型コロナウイルス対策商工業支援事業で実施

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	4	観光費	090504	芽室町観光物産協会運営支援事業

事務事業名	芽室町観光物産協会運営支援事業
-------	-----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町観光物産協会への支援を通じて、芽室町の地域資源を活かした観光及び物産振興につなげる。
2. 対象(何を対象にしているか) ・芽室町観光物産協会
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・物産の販促強化 ・協会主催イベントの入込客数増加

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 昭和37年5月に芽室町の観光資源開発を積極的に進め、特色ある観光地として発展させるために芽室町観光協会が設立された。 観光振興と物産振興のすみ分けとふるさと納税受託収入に頼る収支改善や組織のあり方、協会ビジョンの明確化などが課題である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 食や景観といった本町の観光資源を生かした観光PRと連動した出展や多様なメディアを活用することによる販路の拡大、ふるさと納税返礼品の開拓等を行い、安定した経営状況の実現による観光物産協会の自立を目指す。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	11,180,000	13,235,752	16,875,000
		事業費計(A)	円	11,180,000	13,235,752	16,875,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0911	0.5154	
人件費計(B)		円	723,099	4,014,845		
		トータルコスト(A+B)	円	11,903,099	17,250,597	
活動指標	補助金(予算額)		千円	11,849	13,236	16,875

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

(1) 観光推進事業

芽室遺産をはじめとする観光資源や既存イベントを活かした芽室町の魅力発信を行う。

○イリスフェスタ

- ・令和3年度はコロナ禍により中止
- ・花菖蒲園の動画撮影を行い、SNS等で配信

○氷灯夜2021

- ・令和3年度はコロナ禍により中止

●花火打上げ(無観客)

- ・開催日 2月5日

●もうひとつの氷灯夜2022

- ・開催日 2月13日
- ・町民にアイスクャンドル2,000個を無料配布
- ・芽室駅、公立芽室病院、けいせい苑にアイスクャンドルを設置点灯

(2) 物産普及事業

基幹産業である農業を核とした「食」をテーマとする誘客に努め、各都市で開催される物産イベント等へ参加し芽室町の物産の魅力を発信するとともに販路拡大を図る。

○十勝平原サービスエリア販売

- ・4月10日～11月3日 ※左期間のうち計207日間出店

○イベント販売

- ・4月22日～23日 ホテルポールスター札幌観光物産展(札幌市)
- ・7月10日 めむろ熱中小学校
- ・7月25日 プチ夏フェス(キッチンカー出店)
- ・8月21日～22日 小さな森のマルシェ(揖斐川町特産品販売)
- ・10月15日 愛菜屋収穫感謝祭(キッチンカー出店)

(3) 令和3年度の成果

芽室町外からの観光入込客数が9,900人/年増加した。(150,900人/年→160,800人/年)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	4	観光費	100201	町観光・特産品普及事業

事務事業名	町観光・特産品普及事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町の魅力を発信し、観光誘客と物産の需要拡大を図る
2. 対象(何を対象にしているか) ・観光客
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・観光消費や物産購入につなげる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 観光資源と特産品の魅力を発信し、町内外に芽室町の良さを知ってもらおう。北海道新幹線の開通、道東自動車道の延伸、SNS等の発達、インバウンド対策、アウトドアを核とするDMOの設立、さらにはウイズコロナ社会における観光・物産振興など、常に変化する環境に対応した政策展開が課題である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 道央-道東の間にも位置する十勝平原SAが本町PRの重要拠点となっており、特産品普及効果だけでなく、町への誘客を図る。SNSを活用した「魅力発信」や「特産品購入への誘導」を実施する。農業を核として地元の人が多く関わるサイクルツーリズムを推進し、地元の人と観光客をつなぐニューツーリズムの仕組みを構築する。芽室町観光物産協会との連携、新嵐山のリニューアルの動きへの対応、野遊び事業、地域おこし協力隊員の利活用などと連動しながら観光資源と特産品の魅力を発信していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	2,900,000	5,048,850	4,985,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,200,437	296,749	948,000
		一般財源	円	9,946,493	11,925,442	15,162,000
		事業費計(A)	円	14,046,930	17,271,041	21,095,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2151	0.5091	
人件費計(B)		円	1,707,339	3,965,770		
		トータルコスト(A+B)	円	15,754,269	21,236,811	
活動指標	事業費(予算額)		千円	15,587	17,853	21,095

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
寄附金管理基金繰入金	円	800,000		571,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(観光費)	円	400,437	296,749	377,000
地方創生推進交付金(観光費)	円	2,900,000	5,048,850	4,985,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○観光普及事業

観光資源の魅力を広く発信しながら、本町の観光PRを行う。

(1) サイクルツーリズムの推進

芽室町の食や景観といった魅力ある観光資源をつなぎ発信する手段として、自転車を活用した観光振興策であるサイクルツーリズムを推進する。平成29年度に設置した芽室町サイクルツーリズム協議会を中心に取組みを進め、令和3年度からはNPO法人クルクスが事業継承し、交流人口の増や認知度向上を図っている。

○サイクルツーリズム推進事業の主な活動実績

- ①町との定例報告会(毎月)
- ②めむろ散走イベントの企画実施(合計30回実施、延べ51人参加)
 - ・顧客ニーズに合わせて週末以外の平日にも各種ツアーを実施
 - ・通年で実施する散走メニューに加え、1か月ごとに内容を変更する月替わりメニューも実施
 - ・町内農家と連携し、農作物の収穫から調理までを行う「食に関するツアー」を実施
- ③SNSを活用した情報発信(通年)
 - ・公式HP、インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブを活用
 - ・電動自転車を使用し、花菖蒲園やスカイアースとのコラボ動画を作成
 - ・メディアを通じての発信も行った
- ④サイクル関係者との広域連携
 - ・中規模な各種サイクリング大会の運営に参画
- ⑤冬期間におけるサイクルツーリズムの取組み
 - ・新嵐山スカイパークを活用したアクティビティの実施
ガイド付きダウンヒルイベント(2月 2回実施 13人参加)
スノーデュアスロン大会(2月23日実施 17人参加)
※ヒルクライム大会(ゲレンデコンディション不良で中止)
- ⑥自転車文化を根付かせる取組み
 - ・JAめむろ青年部向け散走ミーティングの実施
 - ・レンタサイクルの実施
- ⑦オンライン、オフラインでのPR
 - ・東京や札幌のサイクリング店舗へのパンフレット設置
 - ・オンラインを活用したダウンヒルイベントの中継を東京の企画会社と連携して実施

(2) 地方創生推進交付金の採択による広域地方創生(観光振興)

- ・野遊びSDGs資源調査委託料 7,597,700円
- ・野遊びSDGs協議会負担金 2,500,000円

●活動実績

- ・キックオフミーティング(オンライン) 6月16日
- ・ワークショップ 7月～12月(全7回)
「モニターツアー商品開発について、コンテンツの掘起し・ツアーマップを作成」
- ・モニターツアー 9月25日～26日
- ・ノアソビSDGsフォーラム(3市町合同開催) 12月22日

○特産品普及事業

物産販売を通じて、芽室町の認知度向上や販路拡大に結びつく可能性があるものについて、優先的に取り組む。

(1) 特産品販売促進

- ・4月22日～23日 ポールスター札幌販促・レストラン食材提供(札幌市)※市町村連携事業

(2) 特産品PR提供

- ・随時 企業等へ提供

○令和3年度の成果

- ・芽室町外からの観光入込客数が9,900人/年増加した。(150,900人/年→160,800人/年)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	5	工業振興費	150110	企業支援対策事業

事務事業名	企業支援対策事業
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
近年の人手不足対策が深刻化し、町内企業も人手確保が困難な状況に直面していることから、町内企業の労働力確保を支援するための事業を実施しようとするもの。

2. 対象(何を対象にしているか)
町内企業の事業主、採用担当者の方。

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
町内企業の労働力確保の支援や人材不足を解消する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
立地企業の人手不足対策、若い世代の人材確保支援。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

- (1) 就職合同説明会参加への助成
企業による新たな労働力市場の開拓を後押しする。
- (2) 採用担当者向けセミナーの開催
企業による採用能力の向上を後押しする。
- (3) 地元企業の紹介
立地企業のPRを通して、企業による人材確保を後方支援する。
- (4) 関係者との意見交換
立地企業、教育関係者等との意見交換により、ニーズの把握を図り、事業展開に役立てる。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	440,881	226,784	448,000
		事業費計(A)	円	440,881	226,784	448,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	3	3
		人工数(業務量)	人工		0.3955	
人件費計(B)		円		3,080,852		
		トータルコスト(A+B)	円	440,881	3,307,636	
活動指標	採用担当者セミナー開催数	回	1	1	2	
	立地企業ガイドブック発行回数	回	2	3	3	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

《採用担当者向けセミナーの開催》

・第1回目

開催日時 令和3年10月15日(金)13時30分～

参加者 6社8名

講師 社会保険労務士法人プラスワン 特定社会保険労務士 猫塚 優 氏

その他 個別相談実施 1件

《人材確保対策助成金の交付》

・助成決定企業 1社

・助成対象内容 企業合同説明会参加費用に対する助成(札幌市内開催)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	6	めむろ駅前プラザ費	100112	めむろ駅前プラザ維持管理事業

事務事業名	めむろ駅前プラザ維持管理事業
-------	----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 中心市街地再開発事業で整備された中心市街地活性化の中核施設である「めむろ一ど」を適正に管理して一層の集客化を図り、中心商業地域の振興と活性化を進めるため、施設維持管理に係る費用を負担する。
2. 対象(何を対象にしているか) めむろ一ど(めむろ駅前プラザ)
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 中心市街地活性化の中核施設である当該施設の適正な管理の実施。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 中心市街地再開発事業で整備された中心市街地活性化の中核施設である「めむろ一ど」を適正に管理して一層の集客化を図り、中心商業地域の振興と活性化を進めるため、施設維持管理に係る費用を負担する。 平成18年度から指定管理者制度を導入し、より行き届いた施設管理等が行えるようになった。平成19年度に使用料を増額改定し利用回数が減少したが、平成24年度に平成19年度改定以前の額に改正したことで、増額改定前の水準に回復した。ここ2年は新型コロナウイルス感染症の影響で利用回数減少傾向。 平成28年度、開設後18年経過した老朽化する当該施設の修繕計画を策定し、平成29年度より計画に基づいた修繕を実施している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 平成28年度に策定した修繕計画に基づき施設改修を実施。平成30年度に実施した第1期外壁改修(2面/4面 北面、西面)に引き続き、令和元年度は第2期外壁改修(2面/4面 南面、東面)を実施。令和3年度で開設から23年が経過し、施設の老朽化が進行しており、今後、冷暖房、空調、高圧受電設備、照明等の大規模改修が必要になるため、それぞれの必要時期・費用を改めて確認し、修繕計画に反映するとともに、中心市街地活性化の中核施設としての位置付けもふまえ、町の支援方針を検討する必要がある。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	0	0	0
		地方債	円	0	0	0
		その他(使用料等)	円	2,313,703	2,132,779	3,421,000
		一般財源	円	43,494,998	47,910,566	43,872,000
		事業費計(A)	円	45,808,701	50,043,345	47,293,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1115	0.2901	0
人件費計(B)		円	885,022	2,259,811	0	
		トータルコスト(A+B)	円	46,693,723	52,303,156	0
活動指標				0	0	0
				0	0	0
				0	0	0

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
めむろ駅前プラザ使用料	円	2,193,810	2,059,695	3,370,000
めむろ駅前プラザ自動販売機等使用料	円	109,633	62,254	39,000
使用電話料(めむろ駅前プラザ費)	円	10,260	10,830	12,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

令和3年度めむろ駅前プラザ利用状況 17,190人 (令和2年度 14,194人)

1) 利用目的別使用回数

No	利用目的	回数				
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①	講演会	32回	37回	34回	19回	20回
②	会議、例会等	284回	339回	292回	250回	287回
③	研修会	69回	79回	79回	65回	56回
④	記念祝賀会、イベント等	131回	116回	109回	10回	16回
⑤	結婚式	5回	0回	0回	0回	0回
⑥	展示即売会	27回	30回	24回	18回	15回
⑦	作品展	9回	11回	15回	8回	23回
⑧	サークル、文化活動	126回	125回	168回	115回	111回
⑨	その他(準備、控え室、リハーサル等)	163回	144回	160回	112回	156回
合計		846回	881回	881回	597回	684回

2) 部屋別利用状況

No	部屋名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①	セミナーホール	回数	14	12	6	18	14	0	22	27	23	16	12	19	183
		使用人数	635	438	146	1,974	611	0	863	1,300	2,438	631	369	1,442	10,847
②	セミナー室	回数	28	17	3	23	13	0	21	18	14	14	7	17	175
		使用人数	475	168	26	209	204	0	199	158	142	136	65	181	1,963
③	和室	回数	9	3	1	12	6	0	10	16	14	8	4	13	96
		使用人数	91	30	11	101	35	0	88	150	121	75	38	116	856
④	レファレンス	回数	22	10	10	22	14	0	27	26	19	10	14	20	194
		使用人数	241	139	127	236	147	0	340	364	308	133	156	250	2,441
⑤	調理室	回数	0	1	0	1	0	0	3	0	3	1	0	2	11
		使用人数	0	4	0	2	0	0	18	0	11	1	0	6	42
⑥	ホワイエ	回数	0	0	9	1	0	0	0	14	0	1	0	0	25
		使用人数	0	0	347	10	0	0	0	544	0	140	0	0	1,041
⑦	テラス	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		使用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R3合計		回数	73	43	29	77	47	0	83	101	73	50	37	71	684
		使用人数	1,442	779	657	2,532	997	0	1,508	2,516	3,020	1,116	628	1,995	17,190
(参考)R2合計		回数	11	0	55	53	53	59	80	51	40	71	63	61	597
		使用人数	97	0	1,166	1,730	1,758	975	2,059	840	2,411	1,161	1,091	906	14,194
(参考)R1合計		回数	85	80	86	65	92	70	79	78	66	80	74	26	881
		使用人数	1,788	3,998	2,758	1,316	4,503	1,234	5,287	1,658	2,431	2,963	2,517	337	30,790
(参考)H30合計		回数	70	89	78	67	81	69	71	69	54	89	73	71	881
		使用人数	1,703	4,029	2,331	1,271	3,691	2,194	1,864	1,881	1,485	3,064	2,693	2,221	28,427
(参考)H29合計		回数	65	81	71	79	88	65	65	76	55	72	70	59	846
		使用人数	1,632	3,337	2,447	2,177	4,023	1,918	2,054	2,620	1,618	2,457	2,917	2,057	29,257

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	6	100126	めむろまちの駅運営支援事業

事務事業名	めむろまちの駅運営支援事業
-------	---------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 中心市街地活性化、町民・来訪者への情報提供及び町民活動の推進などを目的して設置する「めむろまちの駅」の管理及び運営支援を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) めむろまちの駅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・芽室町の情報発信 ・利用者への軽食及び休憩の場を提供 ・町民に対して町民活動の推進に関する情報提供 ・中心市街地活性化に資する集客イベント等の開催場所

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 飲食の提供、各種イベントの実施、物産販売などを実施し、誰でも気軽に立ち寄れる「まちの駅」として、多くの方に利用いただいているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少している。 令和4年4月に観光物産協会がまちの駅に移転し、「めむろまちの駅」の運営主体が観光物産協会になったことから、まちの駅の運営に係る補助金は観光物産協会運営支援事業に統合された。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) まちの駅の運営主体が観光物産協会になり、運営に係る補助金が観光物産協会運営支援事業に統合されたことから、本事務事業は令和3年度をもって廃止。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	482,000	493,000	
		一般財源	円	5,494,395	4,636,179	
		事業費計(A)	円	5,976,395	5,129,179	
	人件費	正職員従事人数	人	4	3	
		人工数(業務量)	人工	0.1227	0.5382	
人件費計(B)		円	973,921	4,192,452		
		トータルコスト(A+B)	円	6,950,316	9,321,631	
活動指標	事業予算額		円	6,100,000	5,777,000	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
まちの駅施設管理費負担金	円	482,000	493,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1) 令和3年度開設実績

年度	来場者数	営業日数	1日あたり来場者数	飲食部門売上
29	12,824人	349日	37人	591,060円
30	10,895人	287日	38人	479,840円
1	11,814人	353日	33人	572,600円
2	5,874人	319日	18人	250,002円
3	3,916人	186日	21人	144,914円

2) 令和3年度実施イベント等一覧

① めむろ〜ど23周年感謝セール

- ・ 開催日 令和3年11月19日
- ・ 事業内容 ドリンクメニュー1杯100円

3) 令和3年度ギャラリースペース利用状況一覧

作品展示、パネル展等 5回(8/3~8/20、8/23~9/3、10/1~10/31、11/8~11/29、1/6~2/28)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	7	100213	新嵐山スカイパーク運営支援事業
14	災害復旧費	4	500007	災害復旧事業(観光施設)

事務事業名 新嵐山スカイパーク運営支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・新嵐山スカイパーク一帯の施設整備及び維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ・施設利用者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・利用者数の増加

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 「町営」としていたが、景気低迷等による運営費赤字が増加したため、「廃止」を含めて検討したが、最終的には平成14年度から「指定管理者制度」により運営している。 新嵐山スカイパーク一帯の施設・整備の老朽化が進み、安全性確保や運営上の問題から段階的な修繕や設備の更新などにより、修繕など施設整備にかかる費用の増加が見込まれる。 利用者が求める環境、快適に過ごせる環境の整備を実施することにより、新嵐山一帯の利用者数増加、ひいては観光入込客数の増加につなげることが課題である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 新嵐山スカイパークの再生に向け、新嵐山活用計画「リユラル インザ・スカイパーク」を策定(2020年3月)し、芽室町の個性を体感できる場づくりを目指した施設整備、官民協働の視点を活かした管理運営を進めながら、スカイパーク一帯の資源を活用した新しい魅力づくりに取り組む。なお、2020年度に指定管理者を公募し、2021年度から新指定管理期間(2023年度まで)をスタートしている。2022年度は次期指定管理事業者の公募に向け、新嵐山活用計画の検証(リベンションプランの見直し)を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	2,762,503		
		地方債	円	30,200,000	9,200,000	25,900,000
		その他(使用料等)	円			393,000
		一般財源	円	64,016,365	84,375,766	66,127,000
		事業費計(A)	円	96,978,868	93,575,766	92,420,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.3025	0.0451	
人件費計(B)		円	2,401,070	351,318		
		トータルコスト(A+B)	円	99,379,938	93,927,084	
活動指標	管理運営委託料		円	45,671,000	54,815,000	53,495,000
	施設整備費		円	44,432,172	33,733,436	37,688,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
地方創生推進交付金(新嵐山スカイパーク費)	円	2,762,503		
寄附金管理基金繰入金	円			393,000
MEMロスキー場給水配管整備事業債	円	30,200,000		
ヤスモット整備事業債	円		9,200,000	
MEMロスキー場人工降雪機整備事業債	円			25,900,000
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○新嵐山スカイパーク(宿泊・スキー場・公園・キャンプ場等)の管理運営を、芽室町が100%出資する第3セクター「めむろ新嵐山株式会社」に平成14年4月1日から委託。

1) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者数推移 (年度毎の月別) 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H20年	273	357	465	647	940	701	516	394	330	519	340	290	5,772
H21年	149	455	420	854	854	606	489	309	351	333	342	316	5,478
H22年	237	343	422	633	731	462	559	267	370	578	373	279	5,254
H23年	184	353	595	539	692	498	481	287	391	392	254	253	4,919
H24年	193	378	432	594	729	539	528	316	507	371	266	250	5,103
H25年	230	346	383	878	891	527	390	210	341	347	280	258	5,081
H26年	105	327	360	858	980	529	543	281	411	322	255	174	5,145
H27年	208	376	530	590	744	601	428	175	209	258	186	210	4,515
H28年	209	325	426	890	1,151	610	593	472	421	277	329	265	5,968
H29年	341	474	412	1,063	1,276	735	745	417	398	535	306	234	6,936
H30年	293	441	567	899	1,231	644	485	269	353	290	312	146	5,930
R 1年	278	492	745	783	1,219	703	491	278	340	386	233	87	6,035
R 2年	53	51	85	201	287	231	384	120	60	61	111	34	1,678
R 3年	34	144	36	351	433	123	186	186	259	145	45	68	2,010

2) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者数推移 (年度別) 単位:人

H1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
9,435	11,486	13,575	13,577	15,058	13,563	13,259	12,689	11,149	10,286	9,166	7,382	7,366	7,878	8,103	8,019	6,924	6,452	6,280
20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年					
5,772	5,478	5,254	4,919	5,103	5,081	5,145	4,515	5,968	6,936	5,930	6,035	1,678	2,010					

3) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者の地域別推移

	芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外		芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外
H20年	17.7%	30.5%	32.7%	19.1%	H21年	22.9%	21.6%	33.6%	21.9%
H22年	16.3%	34.9%	26.7%	22.1%	H23年	26.9%	22.6%	22.7%	27.8%
H24年	28.5%	22.2%	22.7%	26.6%	H25年	22.6%	22.4%	27.6%	27.4%
H26年	18.6%	16.6%	33.6%	31.2%	H27年	19.7%	18.3%	29.3%	32.7%
H28年	15.6%	12.1%	40.1%	32.2%	H29年	10.9%	12.8%	44.1%	32.2%
H30年	11.3%	14.4%	40.4%	33.9%	R 1年	6.2%	11.8%	41.3%	40.7%
R 2年	3.7%	7.7%	50.1%	38.5%	R 3年	5.9%	13.6%	38.3%	42.3%

4) メムロスキー場リフト乗降客数推移 (年度毎の月別) 単位:人

	12月	1月	2月	3月	合計
H20年	34,859	180,036	168,766	70,323	453,984
H21年	50,241	196,006	158,710	73,124	478,081
H22年	38,540	209,719	168,272	64,799	481,330
H23年	59,323	200,889	160,127	78,990	499,329
H24年	64,710	197,087	180,729	67,664	510,190
H25年	10,880	121,859	154,425	61,556	348,720
H26年	57,807	201,249	154,159	79,791	493,006
H27年	25,522	174,570	141,238	68,264	409,594
H28年	54,004	195,613	147,344	74,197	471,158
H29年	57,427	199,881	156,931	66,935	481,174
H30年	30,113	146,040	152,802	49,919	378,874
R 1年	15,621	123,460	179,460	37,813	356,354
R 2年	9,944	121,075	105,674	41,365	278,058
R 3年	2,953	95,077	113,907	55,021	266,958

事務事業の成果に関する説明

5) メムロスキー場リフト乗降客数推移（年度別）

H1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
973,714	1,144,747	1,106,914	1,178,453	1,083,091	951,033	1,056,106	1,041,691	943,848	863,960
11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
787,780	697,570	665,451	603,361	544,119	570,447	533,002	434,094	442,428	453,984
21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
478,081	481,330	499,329	510,190	348,720	493,006	409,594	471,158	481,174	378,874
R1年	R2年	R3年							
356,354	278,058	266,958							

6) 新嵐山キャンプ場[フリーサイト]利用者数推移（年度毎の月別） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R 3年	138	179	135	1,091	1,587	699	266	167	77	62	78	73	4,552

7) 新嵐山キャンプ場[グランピングサイト]利用者数推移（年度毎の月別） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R 3年		27	8	143	223	77	72	8	6	15	24	25	628

8) 顧客満足度調査（指定管理事業者による利用者へのアンケート調査）

・調査対象日 令和3年7月1日～令和4年3月31日

・回答数 2,076件

※配布方法 - 精算時にアンケート用紙を配布（1グループに1枚）

[レストラン（コロポックル/スカイパーク）・宿泊フロント・フィールドカウンター]

※回収方法 - 施設内入口3箇所に専用回収箱を設置

○グリーンシーズン（7月～11月）満足度集計

場所 / 項目		満足	どちらでもない	不満
レストラン部門	コロポックル(2F)	92.1%	7.3%	0.6%
	スカイパーク(1F)	83.7%	14.9%	1.4%
	バーベキュー	90.2%	9.8%	—
フィールド部門	キャンプ	95.3%	3.3%	1.4%
	グランピング	97.2%	2.8%	—

○ウィンターシーズン（12月～3月）満足度集計

場所 / 項目		満足	どちらでもない	不満
レストラン部門	コロポックル(2F)	85.3%	11.4%	3.3%
	スカイパーク(1F)	86.1%	11.9%	2.0%
フィールド部門	スキー場	66.0%	18.6%	15.4%

[参考]スキー場の満足度集計の項目別

全体：66.0% / ゲレンデ：55.6% / 設備：63.5% / スタッフ対応：75.6%

